

S S T K



さくら草だより

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会

〒332-0011 川口市元郷1-10-13

電話 048-225-1625

編集人 社会福祉法人さくら草

〒336-0015 さいたま市南区太田窪3501-2

電話 048-813-7426 Fax 048-886-6301

HP <http://www.sakuraso.net/>

E-mail sakuraso@www2.kiy.jp

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年中は、皆様の温かいご支援、ご厚情にあずかり、心より御礼申し上げます。

今年度開設の「コスモス」は、はじめ戸惑っていた利用者も今では前からいたかのように日々を過ごしています。お陰様で、各事業所も、つつがなく新年を迎えることができました。

さて福祉情勢は、障害者自立支援法が平成25年に廃止されるにあたり、「障がい者総合福祉法」制定に向け、当事者参加のもと障がい者制度改革推進会議総合福祉部会で検討がなされています。

国も市も財政厳しく、福祉施策が足踏みしている中、保護の対象ではなく、生活の主体者とする障害者権利条約に適う福祉法をと議論が深められています。

さいたま市では、ノーマライゼーション条例づくりに向け議論が重ねられてきました。

全て日常の暮らしの中で起こること、支援現場では一人ひとりの思いに耳を傾け、さらに利用者主体の支援のあり方を深めていきたいと思えます。

年頭にあたり、「どんな重い障がいを持っていても地域で暮らす」を理念のもと、支援を多く必要とする方の地域生活を支えていくことを、職員一同思いを新たに致します。

皆々様のご健勝とご多幸を心からお祈り申しあげ年頭の挨拶と致します。

平成23年元旦

さくら草の商品です



拓本「翔鸞」寄贈 鈴木不倒氏

11月26日 除幕式

社会福祉法人さくら草

理事長 柴田洋彌

本部長 山本宏

職員一同



おまつり

11/13(土)秋晴れの中、第3回さくら草まつりは今回メイン会場をコスモスに移し行われた。室内では利用者ライブや石けん・陶芸の体験教室、屋外では飲食販売やフリマが出店され多くのお客さんで賑わった。さくら草の歴史が詰まった写真コーナーでは懐かしむ声が聞こえ、みんなが好きなサンサン体操では元気な声が響き、各々が思い思いの表現で楽しんだ。笑顔溢れる今回のおまつりは無事成功し、また来年に向けて飛躍を目指していくのであった。(齊藤)



おまつりのベストショット賞
超良い顔の沖山さん。ニヤリハット



行列のできた模擬店↑



利用者歌披露(ライブ)↑

☆グループ連のフリマ出店にて、売り上げを寄付していただきました。ありがとうございました。
また、ご近所様のご協力あってのおまつり成功となりました。皆様ありがとうございました。

デイセンター各班の役割

2010年度デイセンターは3班に分かれて生活をしています。みのり班・ふたば班・コスモス班の仲間で生活し、みんなで話を重ねていると、障がい者支援の分野 それぞれに即した専門性が必要だと私たちは気付きました。ひとつの目安として、各班のポジションをお知らせします。

みのり班：自閉・行動障がい部門。ふたば班：医療的ケア部門。コスモス班：障がい者の社会参加促進部門。これを軸に、各班の職員が研修等を重ね、より専門的な視点からも生活を組み立てていきたいと考えています。(野島)

<活動報告> (22年 8月 1日~22年 12月31日)

- 8月1日~8日WITH ONE展 13日みのりお楽しみ会 18日コスモスお楽しみ会
- 27日 日特エンジニアリング様お礼訪問 9月7日デイ安全運転講習会 22日利用者部会研修参加 29日メイクアップ講座参加
- 10月2日わかばルーム床暖房導入 15日みのりお楽しみ会 19~21日口腔ケア指導
- 11月5日運動会 13日おまつり 25日ふたばお楽しみ会 30日コスモスお楽しみ会
- 12月 15日クリスマス会 29日利用者忘年会

健康診断一年2回 ヘアカット(理容)、通院介助、体重測定、音楽療法、アロマセラピー、家族会、静的弛緩誘導法訓練会参加、授産品せっけん教室一月2回 美容カット一隔月 みんなのアトリエ一月2回 趣味の日一月1回~ 陶芸一週1回 ボラ音楽交流会 誕生会一各誕生月(誕生月対象者がいない月はお楽しみ会実施)各班お楽しみ会一月1~2回(班交流あり)

サポートさくら草



～サポートでお出かけをする編～

秋晴れのある日、JRの旅に参加する健太くん、
摩耶くん。



朝早くに大宮駅で待ち合わせ。
電車にのって、ブラリ葛西臨海公園の旅へ。



葛西臨海公園では、
船に乗って空気と揺れを楽しんだ。



これから遊園地に突撃して遊ぶ。
期待に胸がふくらんで、
思わずニヤリと笑ってしまう。



はるか後ろに見えるアレ！
あの観覧車に乗るぞ！
やる気満々だ！



観覧車は楽しい。
楽しすぎて笑いがとまらない！

男4人で観覧車。
でも、楽しいものは楽しいのだ。

帰りはとっぷり日が暮れて。
一日たっぷり遊んだ。
ああ、楽しかった。

アシストさくら草

史跡たどって、「街道」歩き旅

2010年2月、日光街道を東京・日本橋より、北へ向かって1宿(10km前後)ずつ歩き始めました。初日は日本橋～北千住宿まで。風の強い日で、東京は向かい風のビル風！前傾姿勢で歩かないと飛ばされそうな感じでした。

2回目は北千住宿～草加宿、3回目は草加宿～千間台。実は越谷宿までで良かったのですが、春日部までと勘違いをして、歩いても歩いても着かず、あきらめて途中で戻って地図を確認したら“あれ？歩きすぎた！”と言った訳でヘトヘトに。

4回目千間台～春日部は、まだ未定ですが…できるかな？

この「街道歩きの旅」は、本人の興味が何か判ってあげられず、公園で1日過ごすのも本人が飽きてしまうのでは…どうしよう？と悩んでいた時に、思いつきました。知らない街と一緒に歩いてみることで、相手の興味・関心のヒントが視線の先から得られるのでは、と思っています。(近藤)

はじめの一步



11:31 日本橋スタート



13:45 ランチ後また歩きます



15:23 「奥の細道」の碑、発見



14:33 マックで水分補給中



やっと到着！

15:25 北千住宿に無事到達

交番や公園、コンビニのトイレを探しつつ、知らない地域を探索しながら宿場町まで楽しく汗を流しました。

南区障がい者生活支援センター

あみ〜ご

最近、様々な場所で支援センターについて説明する機会をよくいただきます。そんなときよくうけるご質問と回答の一例を抜粋してみました。

1.どんな障害のひとが対象？

身体・知的・精神に障害をもつ方

2.どこの支援センターでも相談してよいの？

来所しやすく訪問しやすい、住んでいる区の支援センターをご活用ください。

地域の特徴がおたがいによくわかります。

3.相談料は？ 無料です。

～手帳の有無は関係ありません。～

4.どんなときに相談すればいいの？

◎生活の中で困りごと・やりたいことができたとき

- 1人でやるのは大変だけど、一緒にやってくれるひとがいれば…
- どこから手をつけて良いかわからないけど誰かが話を整理してくれたら…

◎ご本人やご家族や友人知人、関係機関の方などなどお気軽にご相談ください

身体・精神上で治療が必要な場合は、まず医療機関にご相談しましょう◎

5.支援課と支援センターのちがいは？

◎支援センターは手当やサービスを支給しない先入観や制度にとらわれず、比較的ひろい範囲で相談をきくことができます。

◎所属・家族構成・障害状況の変化があっても大丈夫☆

ご相談はコチラ☘→

TEL/FAX
048-866-5098
☆あみ〜ご☆

サポートゆず



ゆず基本理念

『一人一人の幸せを願い、共に歩み続ける』

| | | |
|------------|---|----------|
| 一人一人の幸せを願い | ⇒ | 利他の心 |
| 共に歩み続ける | ⇒ | 共に生き共に創る |

利用者、そのご家族、ゆず全スタッフ、はたまた外出先でお世話になるお店、ご近所さん等々。すべてに対し利他の心を忘れず、共に創り歩み続けること。長くお付き合いさせて頂くことに喜びを感じ、共に歳を重ねていくことに想いを寄せる。それがまさに私たちの目指すもの。当然終わりはない。この終わりのないところに、おもしろみがあると考えています。

「ゆず心得9ヶ条」

- ① 利用者さんの気持ち意思を尊重
- ② あわてず、じっと待つ
- ③ 利用者さんの持っている能力をつぶさない
- ④ 絶対に目を離さない
- ⑤ 体調の観察
- ⑥ 安全確保
- ⑦ 共に楽しい時間を過ごす
- ⑧ 声かけ、あいさつ
- ⑨ ご家族の要望を理解し連絡をしっかりとする

去る10月6日ヘルパー会議を開き、その中で「5クロス」を行いました。

「5クロス」は「セブncross法」（カールE／グレゴリーが考えたデータ処理法でブレインストーミングで出されたアイデア、意見をまとめや評価に活用するもの）を簡素化したものです。（行いやすくする為に、勝手にアレンジしました。）

どのように行うかという、ヘルパー一人一人に大切にしていること、こうありたいと思うこと等5項目を自由に記入してもらい、同じ内容をひとまとめにし、更に順位決めをし絞ってゆくという手法です。上記は①が一番というわけではありません。

ゆずが始まり8年目を迎えようとしています。この年月の中で育まれた私たちの意識を再度、確認し、「やっぱり、そこが大事だよな」と確かめ合うこと。それがゆずの「強み」になり、「ゆず心得9ヶ条」です。



1. 名前 高橋 敬子
2. 血液型 A型
3. 趣味 映画鑑賞
4. マイブーム



子どもの手も離れて、たまに友人たちと日帰りのバス旅行に行くことが楽しみです。

5. ひとこと
2年間高齢者のデイサービスで働いていましたが、このたびサポートゆずに入れていただき、仕事が出来て嬉しいです。宜しくお願いします。
6. 自慢話
得意なものがないので自慢できません。

1. 洞内 木綿子
2. A型
3. バスケットをするコト
音楽を聴くコト
4. 映画鑑賞
5. 精一杯頑張っていき、たくさんの方から色々学んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。
6. 小学校の時から11年間バスケットをやっていました。



1. 牛込 隆子
2. B型
3. プチガーデニング
4. ナチュラル雑貨収集
5. 介護のお仕事はゆずが初めてでまだまだ未熟ですが、よろしくお願いします。
6. どこでも眠れます！



今回は2ページをとらせて頂き、新人さんの紹介と私達の掲げる旗なるものを紹介させて頂きました。

ヘルパー、スタッフ35名。利用者100名と、おかげさまで大世帯となって参りました。ここで改めて、私たち目指すものを見つめなおすことが必要であると考えました。振り返ると、人数は今の半数以下なのに初めてのことばかりで右往左往していた自分でした。ゆずに携わる全ての方々に自分は成長させられていると実感しました感謝をしています。子供の成長を共に喜び、共に歳を重ねることに想いを寄せ、またまた解決しない問題を抱えているご家族の強さとやさしさに触れ、「あ〜一緒にやっぺいこう」自分の力は微力だけれど、そばにいることはできると、強く強く思うのです。

人はいくつになっても成長すると私は信じています。どうぞ、まだまだ、私共を成長させて下さい。新しい年となり感謝の意を込め書かせて頂きました。

ありがとうございます。

丸中

編集後記

新年 あけましておめでとうございます。おまつりも形を変え、進化しました。
広報第15号。(N)

